

# 第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

## 報告書資料 一般 - 92

学校名・団体名	岡山県立岡山西支援学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	特別支援学校国語・数学科のカリキュラムマネジメント

### 〈活動・研究の意義および活動報告〉

#### 1 活動に至る経緯

知的障害者特別支援学校である本校では、国語、算数・数学の指導で以下の2点が課題であった。  
 ①障害特性から学習が、実際の家庭、社会、職業生活で活用されにくく、般化をめざした指導の必要性  
 ②様々な発達段階の小・中学部・高等部での一貫性のある教材の活用による指導の必要性  
 そこで、H30年度の学校経営目標に「育てたい力を明確化した授業」「将来必要な力、実社会で何ができるようになるかを見通した指導」を明示し、校内に「カリキュラムマネジメント室」を新設した。

2 時期：平成30年4月～平成31年3月

#### 3 研究目的

① 目標

② 変容

③ 般化

教材を使って身についた力(主体的・対話的な学び)

実生活で生かせる力(深い学び)

- ① 外部専門家作成の国語、算数・数学の教材(国語：漢字、平仮名、ローマ字マッチング、算数：1～100までの数、タイル算を使った加減算、時計、金銭等)を小・中・高等部で共通した指導。
- ② 授業でできるようになったことを実習や校外学習、家庭などの実生活に生かす「般化」の指導  
 上記国語、算数・数学のカリキュラムマネジメントにより「主体的・対話的な深い学び」の実現。

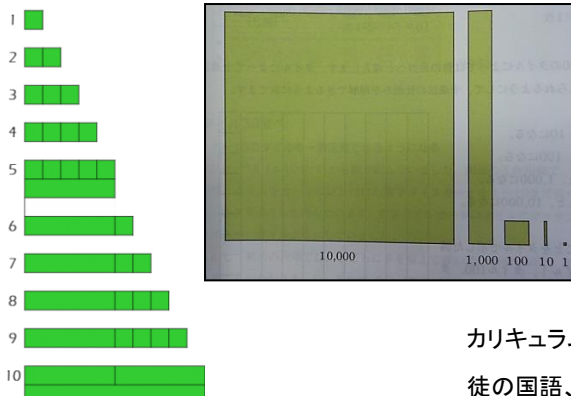
#### 4 活動内容

障害特性からの教材の有用性

(視覚的・扱いやすさ・論理的・反復性・仕事につなが)

タイルによる数量指導

- ① 5をまとまりにした理解(計算、時計、ものさし)
- ② 視覚的に数を量として思考・判断が可能



カリキュラムマネジメント室

カリキュラムマネジメント室を新設し、教材を配置。全教員が活用・指導し、児童生徒の国語、算数・数学指導が充実した。

## 5 指導の実際

### (1) 国語：漢字マッチング



① 目標：漢字を読む力(書字より、まず読む)

② 変容：・曜日、天気、色、季節等を表す漢字を読むことができた。

③ 般化：「剃る」の漢字を見て、「ひげ剃りのこと」と漢字が示す意味を推測できた。

### (2) 国語：平仮名マッチング



① 目標：平仮名を読む力：→発語がなくても読める力

② 変容：複数のカードから文字を見分け、マッチングできた。

③ 般化：平仮名に興味を持ち「絵本の文字を読んで」と教師に依頼した

### (3) 算数・数学 タイルを使った足し算



① 目標：足し算の意味理解

② 変容：タイルを見ながら足し算九九表を繰り返し唱え、式と答えを覚える

③ 般化：家族分の正月の餅の合計を数えられた。

### (4) 算数・数学 タイルと硬貨を使った金銭指導



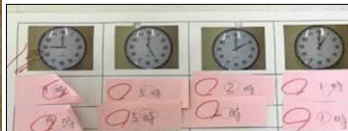
① 目標：金銭の大きさ理解

・値段→適切な支払う 金銭  
→釣銭の理解

② 変容：タイルや1円、10円硬貨で正しい金額を出すことができた。

③ 般化：予算内の金額で購入できる品物を選べた。

### (5) 算数・数学 タイルを使った時計の指導



① 目標：時間の長さ理解

・長針と短針の動きの関係性の理解

② 変容：タイルを使い、時間の長さを「○分間」と読むことができた。

③ 般化：時計とバスの時刻表を照合し、家を出る時刻がわかった。

## 6 子ども達への効果

(1) 児童生徒：①教材に主体的に取り組む、思考・判断する力の向上 (主体的な学び)

②教材を介して教師と関わる力 (対話的な学び)

③授業の学びを実生活で発揮 (深い学び)

(2) 教員：障害特性を生かしたタイル算による生活に生きる特別支援教育の国語、算数科の指導力向上

(3) 学校：①国語、算数・数学の小学部・中学部・高等部までのカリキュラムマネジメントの充実

②教材を通して地域の小中学校等への特別支援教育のセンター的役割の発揮

③教材の共有による教材作成時間の削減による働き方改革の実現